

西成区民センター

西成区民センターは、コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とした施設です。

会議や研修、サークル活動などに適した貸室があります。どなたでもご利用いただけます。料金・付属設備等、詳細はお気軽にお電話ください。

☎ 06-6651-1131 📠 06-6651-1158



INFORMATION

西成寄席

	日程	出演	場所
第70回	平成25年 8月30日(金) 午後6時15分～	桂 春若 ほか	西成区民センター (会議室2-1)
第71回	平成25年 11月29日(金) 午後6時15分～	桂 春若 ほか	西成区民センター (会議室2-1)
第72回	平成26年 2月28日(金) 午後6時15分～	桂 春若 ほか	西成区民センター (会議室2-1)

※各回とも30分前開場です。

入場料：一般 1,300円 (65歳以上・身体障がい者手帳等をお持ちの方は800円)
小学生 800円 (※小学生未満は原則入場不可)

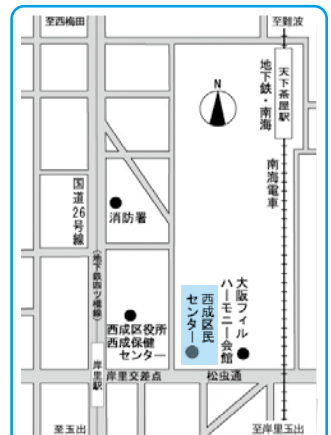
主催：西成区役所

企画運営：一般財団法人大阪市コミュニティ協会西成区支部協議会
西成寄席実行委員会

協賛：西成区内各種団体

協力：らくてん会・西成区役所職員落語研究会

問い合わせ：一般財団法人大阪市コミュニティ協会西成区支部協議会
☎ 06-6652-8461 📠 06-6652-8462



西成区民センター

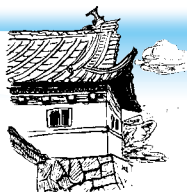
〒557-0041

大阪市西成区岸里1-1-50

地下鉄「岸里」徒歩1分

地下鉄・南海「天下茶屋」徒歩5分

🔍 大阪市立西成区民センター 検索



おおさか歴史探訪 69

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

大阪 起死回生の会議は工場で行われた!?...「五代友厚精藍所・西朝陽館跡」碑

かつて「天下の台所」と呼ばれた大阪は、明治維新によって致命的な打撃をうけ、沈滞を余儀なくされました。その大阪を再生させるため生涯を捧げたのが薩摩出身の五代友厚(1835-1885)だったことはよく知られます。五代は初代の大阪税関長などを務め、造幣寮の誘致にも尽力しました。横浜への異動命令を断って野に下り、民間人として紡績・鉱山・製塩・鉄道など様々な事業を大阪を中心に展開していきます。

そのなかに製藍事業もあり、輸入藍によって衰退しかけた国内の製藍業・染色業の近代化を図るため、明治9(1876)年、現在の北区堂島3丁目の堂島川沿いに大規模な工場を建設しました。工場は「西朝陽館」といい、300名にのぼる従業員がいたといいます。舶来の蒸気機関が唸り上げ、屹立する煙突から吐き出される煙は桜宮の造幣寮と好一対であったといわれます。

明治11(1878)年、大阪の経済活動の振興を目的とした商法会議所の設立が許可され、大阪の再生と近代化に向けた活動が始まります。その開設が行われたのがこの西朝陽館精藍所でした。現在の大阪商工会議所はこの地で誕生したのです。しかし、五代の精藍所は原料供給の不安定さなどから経営に行き詰まり明治16(1883)年に閉鎖、五代も明治18(1885)年に東京で療養中に病没します。遺体は大阪に運ばれ、阿倍野墓地に埋葬されました。堂島川を臨む西朝陽館跡は大阪の恩人・五代友厚の生涯を偲べる場所の一つです。



明治10年には明治天皇もここを訪れた

(大阪市教育委員会 文化財保護担当)